

財政事情の公表

(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

徳島県後期高齢者医療広域連合

1 財政の動向及び財政方針

本広域連合は、75歳以上の高齢者を対象に平成20年4月から新たな制度として開始される後期高齢者医療制度の円滑な運営を図るため、県内24市町村で構成する特別地方公共団体として平成19年2月1日に設立されました。

平成19年度は、前年度に引き続き広域連合設立に伴う条例等の例規の整備を行うほか、後期高齢者医療制度の円滑な導入を図るため広報活動を行います。また、同制度では、被保険者の資格管理から保険料賦課、医療給付に至るまで膨大なデータ処理が必要となることから、被保険者情報等を市町村と共有し、事務を効率的に処理するためのサーバ、窓口端末等を設置するとともに、後期高齢者医療広域連合電算処理システムを整備します。

これらの財源は、主に広域連合を構成する市町村からの負担金によるものであるため、各市町村と連携を図りながら計画的かつ効率的な財政運営に努めます。

2 歳入歳出予算の執行状況

平成19年度一般会計の4月1日から9月30日までの歳入予算の収入状況及び歳出予算の執行状況は、次のとおりです。

(1) 歳入

(単位:千円)

区 分	予算現額A	収入済額B	収入率 (B/A)	説 明
1 分担金及び負担金	394,667	197,314	50.0%	県内24市町村からの共通経費負担金
2 国庫支出金	10,000	0	0.0%	老人医療費適正化推進費国庫補助金
3 諸収入	2	52	2600.0%	預金利子他
4 繰越金	4,341	0	0.0%	前年度繰越金
合 計	409,010	197,366	48.3%	

(2) 歳出

(単位:千円)

区 分	予算現額A	支出済額B	執行率 (B/A)	説 明
1 議会費	3,122	350	11.2%	広域連合議会の運営に係る経費
2 総務費	227,428	10,168	4.5%	職員人件費を含む、広域連合事務に係る経費
3 民生費	173,601	9,010	5.2%	電算システム整備費を含む、後期高齢者医療制度の施行に向けて必要となる準備作業に係る経費
4 予備費	4,859	0	0.0%	上記以外の支出に対応するための経費
合 計	409,010	19,528	4.8%	

3 住民の負担の概況

平成19年度については、医療給付等の事業が開始されていないことから、住民からの直接の負担はありませんでした。

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

(1) 財産の現在高（平成19年9月30日現在）

区分	数量	摘要
公有財産	0	
物品(重要物品)	2	自動車(2台)
債権	0	
基金	0	

(2) 地方債の現在高

平成19年9月30日現在で、地方債の借り入れはありません。

(3) 一時借入金の現在高

平成19年9月30日現在で、一時借入金の借り入れはありません。

5 特別会計の設置状況

平成19年9月30日現在で、特別会計の設置はありません。

なお、後期高齢者医療制度の運営にあたっては、平成20年度から特別会計を設置する予定です。